

(令和3年09月13日)

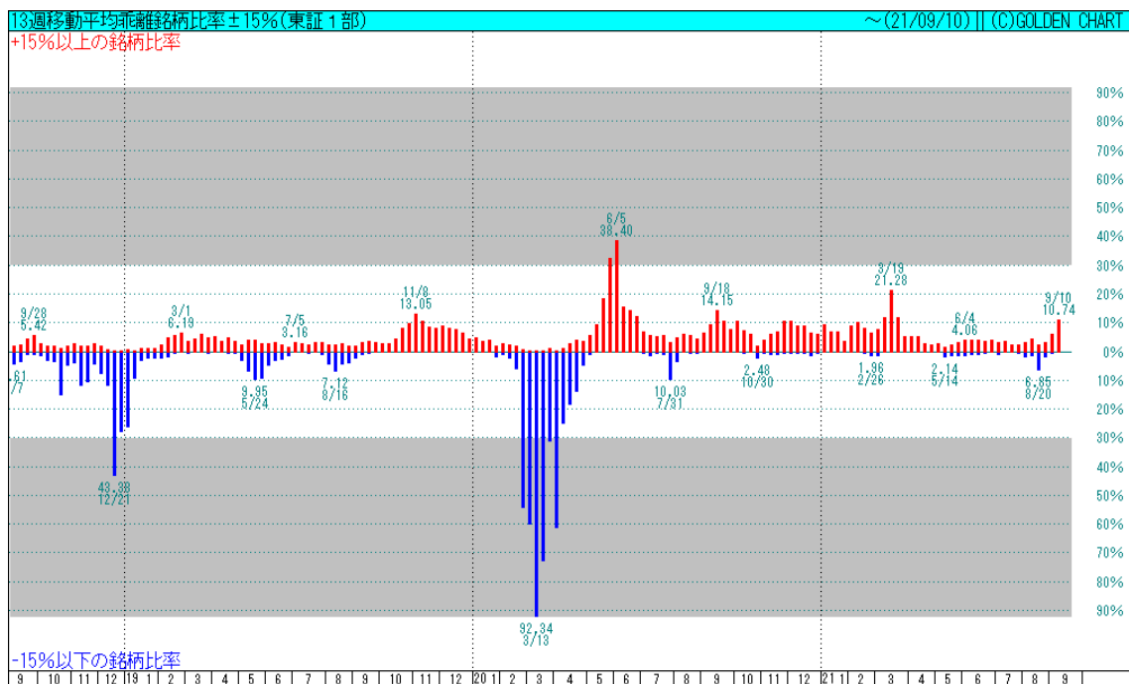
< ワンポイントレッスン (実践) >
(移動平均乖離率)

移動平均は経済統計でも使われますが、株価分析ではグランビルの8法則をはじめゴールデン・クロス&デッドクロス、移動平均からの乖離率など、マーケット全体や個別銘柄に適用される基本指標です。

ここに来て、マーケットは保ち合い離れ。あまりピッチが速く行き過ぎが気になる処ですが、ピッチの行き過ぎの判定には移動平均からの乖離率が使われます。

今回は「移動平均高乖離銘柄比率 (13週・±15%乖離基準)」、東証第一部市場上場銘柄数に占める上記基準に該当した銘柄数の割合です。

(13週移動平均高乖離銘柄比率・東証第一部)



All Copyright © ゴールデン・チャート社

最近の上方への行き過ぎでは、昨年コロナ・ショック後、20年5月末から6月初めに要警戒ラインを超える局面がありました。また、今年は3月に20%越えがあり要注意を示唆。ボラティリティの大小やコロナ・ショックでの物色の二極化など、マーケットの状況を加味できればなお有効と思います。なお、先週末は10.7%の水準でした。

(了)